

令和5年度（所属名）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
教職員に求められる高い倫理観の保持・向上	教育の専門家としての自覚・意識を高め、教職員としてのアイデンティティを確立する。	○ 教職員全体に対して月1回のペースで不祥事防止研修会等を実施することで、教職員の倫理に関する指針の普及や自覚・意識の向上に資する取組みを行った。
わいせつ事案防止のための校内の環境（システム）の整備	わいせつ、セクハラ行為を未然に防止する。	○ 教科準備室等の適切な利用を徹底し、わいせつやセクハラ行為が起こらない環境整備を進めた。 ○ 事例資料を基に、わいせつやセクハラ行為及びそのきっかけとなる生徒とのSNS利用を防止した。
教職員を組織的にサポートする体制づくり	同僚性の醸成に向けた組織的な支援・相談体制の充実を図る。	○ 教職員が業務上の課題やストレス等を抱え込まないよう、総括教諭や管理職が連携し、風通しの良い組織の構築や相談体制の充実を図った。
不祥事の未然防止を目的とした専門家との積極的な連携	発生原因が不明な事案や詳細な心理分析を要する事案について、専門家の専門的な見地から原因分析や再発防止対策等について報告を受け、再発防止の取組みに反映する。	○ 発生原因が不明な事案の確認や心理状況を客観的に分析できる質問事項が盛り込まれているチェックシートを教職員に配付し、自己の内面の振り返りに活用した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成と取扱いに係る事故防止	点検体制を整え、職員が一つひとつの業務を確実にやり、適切な処理をして引き続きミスのない書類作成を行う。	○ 入学者選抜ワーキングチームと連携を図り、余裕を持った点検計画を整え、職員が業務に集中できるように工夫した。
個人情報等の管理及び情報セキュリティ対策の徹底	引き続き生徒の個人情報の管理及び情報セキュリティ対策を徹底し、個人情報の流出を未然に防止する。	○ 「すく〜るねっと」を活用し、成績や個人情報の管理を徹底することで、個人情報の管理及びセキュリティ対策を適切に実施することができた。 ○ また、教務手帳は教務手帳ロッカーに保管し、その管理を適切に行うことにより、個人情報の適切な扱いについて職員に周知徹底することができた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	酒酔い・酒気帯び運転禁止の徹底、交通法規の遵守による交通事故の防止を目指す。	○ 不祥事防止会議を通じて、交通法規の遵守、安全運転、事故の発生を未然に防止するための啓発活動を行い職員の意識向上を図った。

業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	教科及びグループ業務の情報共有、業務体制を推進する。	○ ICTを活用しプラットフォームの共有フォルダ内で教科における教材の共有化を進めた他、掲示板を活用すること等で教職員全体に教育活動を可視化することができた。 ○ グループ業務を複数体制で協力して行い、相互にチェックできる体制を整えた。
財務事務等の適正な執行	私費会計に関する事故を未然に防止する。	○ 私費会計担当者に対して、私費会計基準の扱いの周知徹底を図った。 ○ 管理職による帳簿確認の回数を増やすことで、完成度の高い出納簿を作成することができた。
体罰・不適切指導の防止	体罰、不適切指導を未然に防止する。	○ 生徒に対して人権に配慮した適切な指導を行うとともに体罰・不適切指導の未然防止を徹底した。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

令和5年度は引き続き、1か月に1度のペースで教職員に対し不祥事防止についての注意喚起を丁寧に行った。このことにより不祥事や事故に対する教職員の意識を高めることができた。校内において生じた諸課題については、個人で解決を図ることなく、所管グループや年次団でしっかりと検討した後、速やかに、管理職へ相談する「情報共有一丁目一番地」体制が構築されている。これにより、スピーディーかつ正確に学校全体で課題解決を図ることができている。

令和6年度は今年度の経験を活かし、より一層精度の高いカリキュラムマネジメントを円滑に進める。全教職員一致団結した点検体制による事故防止を推進するとともに、職員研修を通して公務員としての自覚をもった行動を引き続き強く促していく。